



龍隆

雷智25内蔵電源ケーブル



この度は電源ケーブル**龍隆**(リュウリュウ)をお買い上げ頂き有り難うございます。

龍隆は、クラスレス*な電源ケーブルに、**電源用スタビライザー（雷智25内蔵）**を合体させた、全く新しい電源ケーブルです。

既存の電源ケーブルを**龍隆**に換えると、一聴して広く豊かな音場感や馬力のあるパワー感を感じられます。

また、トレーニングが進むにつれ、繊細でありながら高度な分解能など、音の静と動の再現にも驚かれる事でしょう。

*クラスレス

高価で高性能なケーブルは幾らでもありますが、それらに匹敵する性能を持つこのケーブルは「値段≠性能」(クラスレス)といえるでしょう。

特徴

■超柔軟な電源ケーブル

Ge3では従来より「**ケーブルは柔軟であるべき**」と柔らかさが最重要だと言いつけてき

ました。電源ケーブルでもその考えは同じで、特に柔らかく音の良いケーブルを探し求めた結果、驚きの太さと相反する柔らかさを併せ持つ特注ケーブルを製作するに至りました。

このケーブルを使用することで、独特な音の繊細感が得られ、また、ケーブルのトレーニングに要する時間も比較的短くて済むようになりました。

■特殊な2重シールド

ケーブル自体にシールドを内蔵しているにもかかわらず、敢えて外部にもシールドを施しました。これらの組み合わせにより、暗さや閉塞感といったシールドケーブル特有の重苦しさを解消しました。

■コネクターへのこだわり

コネクター類にも当然こだわり、世界中のACコネクターを探索しました。Ge3値の高いモノを探した結果、フルテック製の金メッキタイプを使用しています。

■雷智25

電源用スタビライザー（箱の部分）には、電源に元から含まれている汚れやストレスを取り除き、**電源のクオリティを向上させる機能**を持たせました。

「電源に元から含まれている汚れやストレス」とは、通常の電氣的なノイズなどとは全く異なる種類のモノで、Ge3では情報ノイズと考えています。この情報ノイズに対応する製品が【雷智（イカズチ）】です。（現在好評発売中）

電源用スタビライザーの中に、小型化した

【雷智】を25個分内蔵することに成功し、情報ノイズを取り除くパワーが桁違いに強力になりました。結果、音楽再生に最適化された電流をストレス無く送り込むことが出来ます。

使い方

龍隆は、それぞれの機器専用の電源ケーブルとして使うことが理想的です。また、良質な電源タップの入力ケーブルとして使用しても十分に効果を発揮します。

オーディオ機器に使用する場合、音源にとって上流にある機器に**龍隆**を使用する方が、効果を感じられる方が多いようです。その意味では、使用する際には **パワーアンプ < プリアンプ < DAC < CDプレーヤ** の順に効果が大きいようです。

また、面白いことにアナログプレーヤに使っても大きな効果を発揮します。電気を使っているのは小さなモータだけなのに、かなりの変化を示します。オーディオの面白く不思議な所です。

■設置について

龍隆の電源用スタビライザーと電源ケーブルとは電氣的には絶縁状態になっています。その為、固定ネジを緩めると、電源用スタビライザーである箱部分を好みの位置に動かす事が出来、自由な設置が可能です。電源用スタビライザー部分は、水平で安定したところに置いて下さい。ケーブルに引っ張られて宙ぶらりんになったり、浮いた状態では十分な効果を発揮出来ません。

例えば、Ge3のオーディオボード【大地4】

の隅にでも置けると理想的です。



左写真の様に宙ぶらりん状態では音も不安定になってしまいます。このような使い方は絶対にしないでください。

トレーニング期間

オーディオ製品の多くは、設置後、音質が安定するまでにある程度の時間が必要です。これを一般的には「エージング」と言いますが、Ge3では「**トレーニング期間**」と呼んでいます。よく似た意味のようですが、全く違うモノであるとGe3は考えています。

「エージング」の意味は文字通り「加齢」です。エッジ等の可動部分等に数年分もの負荷を与えて慣れさせようとの考えです。しかし、「エッジ等はストレスの固まりになって、ストレスを聞いている様なモノだ。おまけに寿命も短くなってしまおう」と言うのがGe3の考えです。

一方、「トレーニング」とは「機器のストレスを取る事が大事」との考え方です。その為に守っていただきたいのが次のことです。

●オーディオ機器のストレスが消えるまでの期間、コネクタを抜いたり挿したりしない。

●機器を動かしたりしない。

●この期間、音楽信号を流す流さないはあまり関係しない。(唯一モーツァルトの音楽を流すとトレーニングが数倍のスピードで進む様ではあります)

さらに、「機器のストレスが無くなってから進むトレーニング」があります。すべての機器は、機器本体だけのストレスだけでなく、接続されている機器の影響も受けていると思われるからです。

例えば、AMPの性能が100点で、SPの性能が80点だった場合、この状態で長く使っていると、AMPの性能も80点に下がってしまいます。次に100点のSPを繋いでも、一度性能が下がってしまったAMPはすぐには元の100点の性能を発揮することができません。AMPが本来の性能を発揮できるようになるまでしばらく時間がかかります。

この期間のことも、Ge3は「トレーニング期間」と呼んでいます。

■機器のストレスについて

機器のストレスとは主に移動や設置に伴う物理的な負荷に対してのストレスを指します。

●設置してすぐのオーディオ製品は、音質が安定しません。機器がストレスを溜め込んでいるからです。このストレスが発散(消去)されるには2時間必要です。

●コネクター類を接続したときにもストレスがコネクターに溜まります。これが消える時間は3時間必要です。

●ケーブルを動かしてもストレスが溜まりません。ケーブルに溜まる訳ですが、これが消えるには堅いケーブルだと12時間以上、柔らかいケーブルで4時間必要です。

これらのことを考えると、頻繁に接続を換えての機器の試聴には疑問を持たざるを得ません。

●ご不明な点がございましたら、メール、FAX、BBS等で、お問い合わせください。

Ge3では、使用時のコツやアイデア、他の様々な製品紹介等下記ウェブサイトに掲載しております。

<http://ge3.jp>

特に掲示板(BBS)では製品の使い方などについてユーザーの方々同士、情報交換も盛んです。レアな情報も多いので是非ご覧下さい。また、新しい使い方等のご提案や報告もお待ちしております。

Ge3

Ge3株式会社

〒662-0011

兵庫県西宮市甲陽園目神山町25-8

Tel:0798-75-4505

Fax:020-4666-8312

info@ge3.jp <http://ge3.jp>

2009.12.16

超おすすめ!是非これはやって欲しい!

Ge3的基本チューニング (SPユニット編)

1. 茅蝸・鼓粒 (ヒグラシ・コツ)



SPユニットなどの後部に貼り付けるだけでカウンターウエイトとして機能します。小粒ですが特殊な構造により振動に対して最大4kg相当の慣性力を発揮します。フレームを重さで歪ませない理想的なカウンターウエイトです。

2. 黒アゲハ



SPユニットのコーン紙に直接貼ってコーン紙の不要振動を防ぎます。全帯域に渡り音の透明度とリアルさがUPします。仮想的にコーン紙の強度を上げたのと等価と考えられ、現代的なハイスピードの音楽が苦手なユニットも楽々と再生可能になります。

3. Project Q



塗るだけで、その部分が強くなったり、上質になったり、不思議な効果をもたらす塗料です。その変化はクライオ処理に似ています。超低温に冷やさなくても仮想的にクライオ処理が可能です。

4. ケブタフェルト・シール



既存のSPのパッキンをこのシールに交換するだけでエンクロージャの不要振動を防ぎ、音を濁す原因をシャットアウトします。明らかに再生音の明瞭度が上がりSPの性能を大幅に向上させます。